

# 2018 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2018 年4月21日 ~ 2019 年4月20日)



作成日 : 2019年5月13日

更新日 : 2019年5月30日



ISO9001:2015 認証取得



エコアクション21  
認証番号 011899



大阪の元気!ものづくり企業



## フセハツは迅速・丁寧 顧客一体の「ばね造り」

バネの弾む原理を進化させ、小さくても大きな使命をもって、フセハツ工業は未来の社会に貢献していきます。

項 目	ページ
目次	2
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4・5
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	6
主な環境負荷の実績	7
環境経営目標及びその実績	7
環境経営計画の取組結果とその評価	8・9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	11
これまでの環境活動の紹介	12・13



### 企業理念

進む原理を進化させ 小さくても大きな使命と 責任感を持って社会に貢献すべし  
社訓

物を大切にし 冗費を慎み 理想的な企業及び家庭の建設に努めること



## 環境経営方針

フセハツ工業株式会社は、事業活動を通じて、地球温暖化の緩和に向けた様々な環境活動に  
全員参加で自主的・積極的に取り組み社会に貢献します。  
また、環境改善活動を通じて、理想的な企業及び地域社会の建設に努めます。

1. 環境関連法規等の遵守を徹底します。
2. 有害な化学物質使用の適正管理に努めます。
3. 材料ロス・不適合を削減し、物を大切に使用し、再利用できるものは工夫して使用し、廃棄物の削減に努めます。
4. 作業の継続的改善により、ムダな作業時間を減らし、ムダな生産やムダな動きを無くし、エネルギー(電気・ガス・ガソリン等)の効率を上げ、二酸化炭素削減に努めます。
5. 節水活動や冷却水の循環利用により水使用量の削減に努めます。
6. 設備・機器・車両・事務用品等は、省エネで環境に考慮したものを購入します。  
また、必要以上には買いません。
7. 5S活動を通じて環境整備を推し進め、環境に配慮した製造工程・サービスの実現に努めます。
8. 環境レポートを社内外に公開し、継続的に環境活動を改善します。

制定日：2016年10月1日

改定日：2019年4月21日

代表取締役 吾村 篤

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名  
フセハツ工業株式会社  
代表取締役社長 吉村 篤
- (2) 所在地  
本社工場 大阪府東大阪市西堤本通西1丁目3-43



ISO9001:2015 認証取得

- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者 経営企画 兼 品質管理部 吉村 啓司 TEL：06-6789-5531  
担当者 経理・総務 松田 美津子 TEL：06-6789-5531  
担当者 第二製造部 渡辺 真由 TEL：06-6789-5531

- (4) 事業内容  
金属精密加工製品(ばね、ばね関係製品)の設計・開発及び製造

(5) 事業の規模

売上高 412,948 万円

	本社工場	合計
従業員 名	46 名	46 名
延べ床面積 m <sup>2</sup>	1854.59 m <sup>2</sup>	1854.59 m <sup>2</sup>

- (6) 事業年度 4月21日～4月20日

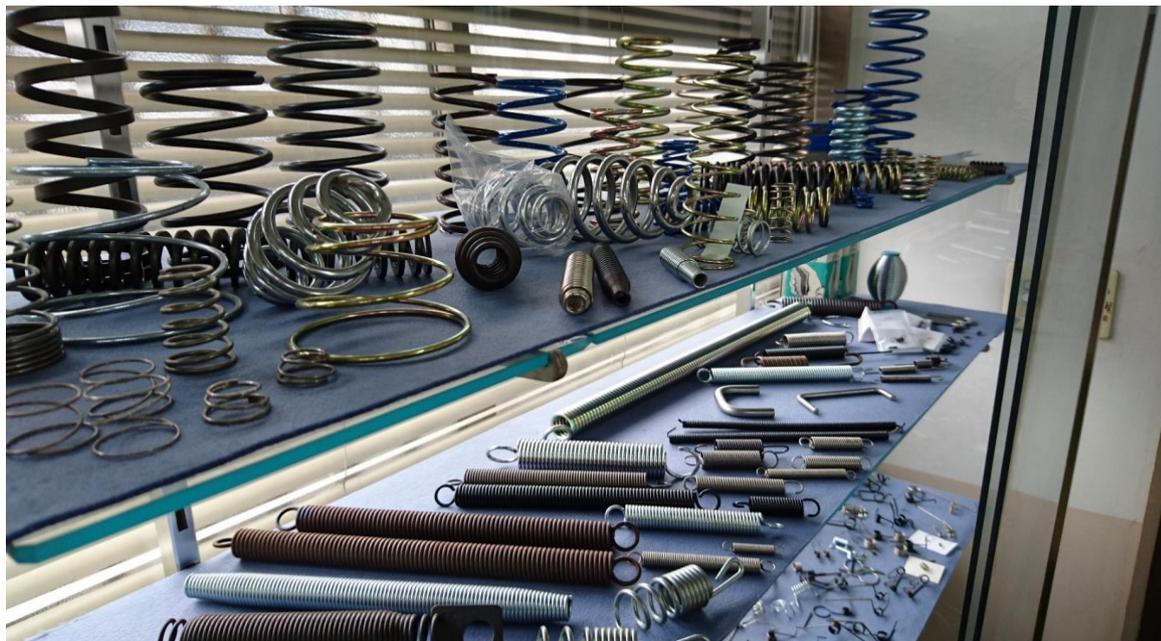


□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： フセハツ工業株式会社  
対象事業所： 本社工場

対象外： なし  
活動： 金属精密加工製品(ばね、ばね関係製品)の設計・開発及び製造

□事業や製品(商品)の紹介



多種多様な「ばね」を1個から製作し  
顧客の求める「ばね」を専属営業マンとともに  
実現します。

# 確かな技術の証。

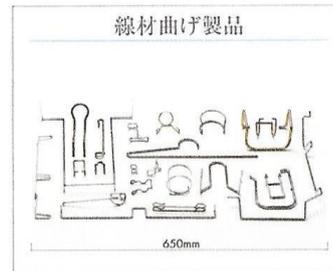
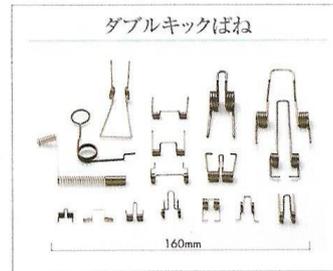
バネの総合メーカー  
**FHK** フセハツ工業株式会社

〒577-0046  
 大阪府東大阪市西堤本通西1丁目3-43  
 TEL:06-6789-5531(代)  
 FAX:06-6789-5536  
<http://www.fusehatsu.co.jp/>

## 「顧客一体型」のモノづくり

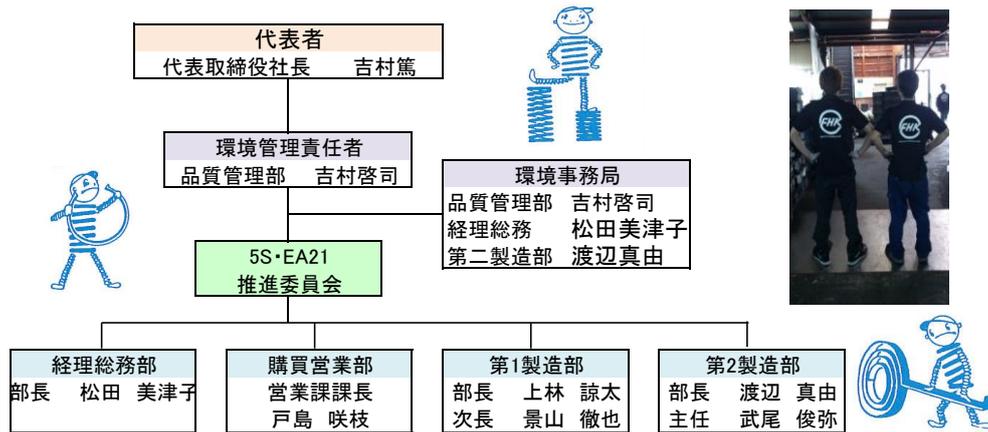
「ばね」は材質、形状、用法において実に多種多様な製品です。材質では、従来のピアノ線、硬銅線、ステンレス線、磷青銅などに加え、近年は、ハステロイ、インコネル、シリコクローム、チタンなどの新しい素材も続々登場。形状自体もコイルなどの線材中心からフォーミングばねや形状記憶合金を用いたもの

など、形や用法の進化には著しいものがあります。これらを踏まえ、フセハツ工業では、多品種少ロット生産から複合加工、さらにはユニット部品製作まで、「顧客一体型」のモノづくりを掲げ、素材の選定から加工方法の選択まで、お客さまのあらゆるご要望に応えるべく万全の体制で取り組んでいます。



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2019年5月30日



役割・責任・権限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境経営方針の策定・見直し</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、5S・EA21の事務局</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
5S・EA21推進委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営計画の審議</li> <li>環境活動実績の確認・評価</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>



代表取締役社長 吉村 篤



取締役会長 吉村 健一



従業員一同

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2016年	2017年	2018年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	187,819	201,691	184,631
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	トン	4403	2245	2,497
産業廃棄物排出量	トン	13951	17,841	17,513
総排水量	m <sup>3</sup>	710	738	525



※二酸化炭素排出係数 0.531 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 電力会社の調整後の係数

※ 二酸化炭素総排出量には目標設定していない灯油とLPGを含みます。

□環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年)	2018年		評価	2019年 (目標)	2020年 (目標)
			(目標)	(実績)			
電力による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	179,473	177,678	167,388	○	177,678	175,884
	基準年度比	2017年	99%	93%		99%	98%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	19,171	18,787	14,081	○	18,979	18,787
	基準年度比	2017年	98%	73%		99%	98%
上記二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	198,644	196,466	181,468		196,657	194,671
一般廃棄物の削減	kg	2,245	2,222	2,497	×	2,222	2,200
	基準年度比	2017年	99%	111%		99%	98%
混合廃棄物の削減	kg	2,011	1,991	1,405	○	1,991	1,971
	基準年度比	2017年	99%	70%		0.99	0.98
水道水の削減	m <sup>3</sup>	712	705	525	○	705	698
	基準年度比	2016年	99%	74%		99%	98%
行動目標(次項による)							

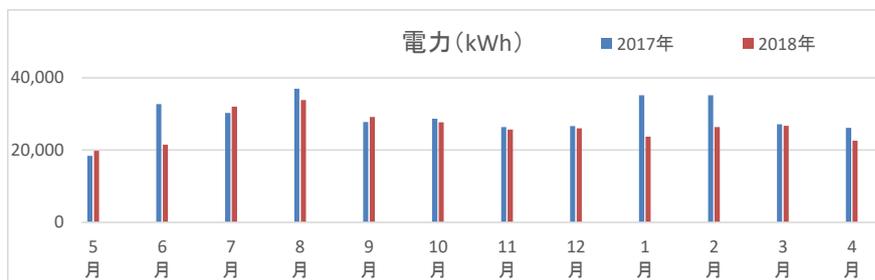


## □環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

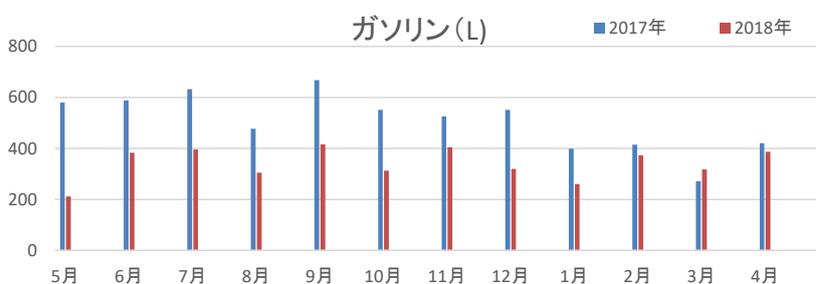
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	電力は前年度より削減している。LED蛍光灯の一部入れ替え、テンパ炉の使用時間の変更を行った結果が省電力に繋がったのではないと思われる。2019年度は蛍光灯をLED蛍光灯に一部入れ替え電力削減・省電力に努める。
・無人箇所のエアコンOFF	○	
・不要照明の消灯	△	
・ノー残業デーの実施	△	
・電気炉の電源、始業前規制	○	
・照明、始業前・昼休憩規制	○	

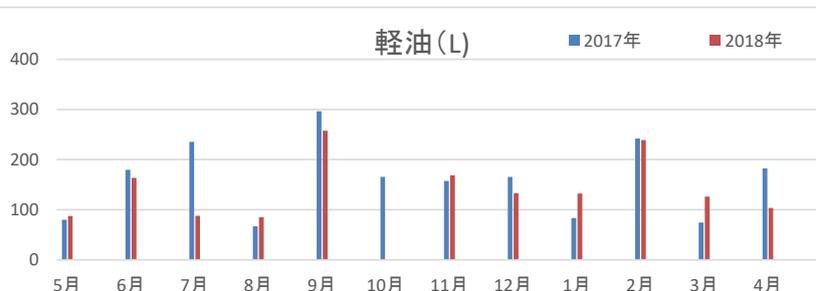


	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2017年	18,398	32,697	30,307	36,976	27,780	28,661	26,368	26,618	35,142	35,142	27,105	26,140
2018年	19,808	21,455	32,055	33,866	29,191	27,695	25,692	26,001	23,739	26,398	26,742	22,589

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	今期は大幅なガソリン削減に成功。理由としては営業の配送ルートの見直しが大きく影響していると思われる。2019年度は今期を維持するとし、目標は1%削減を目指す。
・アイドリングストップ	×	
・効率的なルートで配送	○	
・エリア別営業活動の見直し	△	

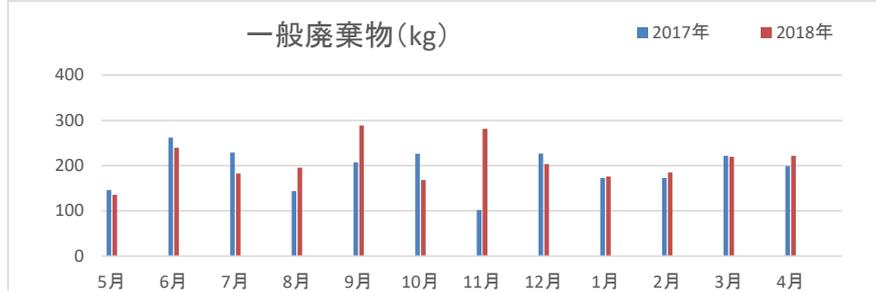


	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2017年	580	588	632	477	668	551	525	551	398	414	271	421
2018年	211	382	395	305	415	313	405	320	260	373	317	387



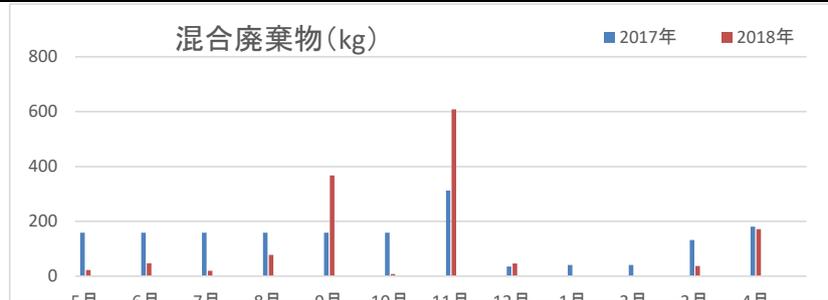
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2017年	80	180	235	67	296	165	157	166	83	242	74	183
2018年	88	163	88	85	258	0	169	133	132	239	126	104

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	前年度よりゴミが増加した結果となった。5S活動によるムダなものを廃棄したことも原因であると思われる。来期も5S活動を行い不要な物を徹底的に廃棄していくのでゴミは増えるかと思うが、目標値は今期を維持するものとする。
・分別の徹底	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
5S活動の推進	△	



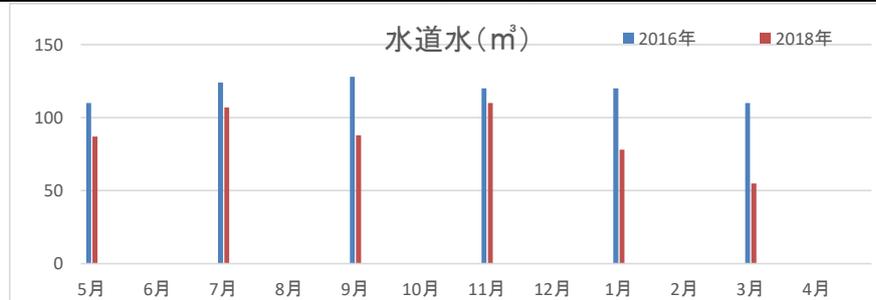
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2017年	146	262	229	143	207	226	102	227	173	173	222	199
2018年	136	239	183	196	288	168	281	203	176	185	220	222

混合廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	工場の床張り替え工事で発生した、不要な工具・備品の廃棄が大きく重量増につながった結果となった。だが、前年度を下回る結果となったため、削減には成功している。2019年度は今期を基準とし1%削減に努める。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・5S活動の推進	△	



	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2017年	158	158	158	158	158	158	312	36	41	41	132	181
2018年	22	47	20	78	367	8	608	46	0	0	37	171

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	真空炉が本格稼働し水の使用量が非常に多く、水道料が大幅に上がった。このことから対策で循環器を設置。よって今期は真空炉本格稼働前の2016年度の水道料を基準に活動を行ってきた。結果2016年度より26%の削減に成功。節水コマ・真空炉用循環水の設置が効果を表したと言える。2019年度は今期の節水を維持しつつさらに1%の削減に取り組む。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・節水コマ取り付け	△	



	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2016年	110	0	124	0	128	0	120	0	120	0	110	0
2018年	87	0	107	0	88	0	110	0	78	0	55	0

**□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無**

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
騒音規制法	空気圧縮機、送風機、プレス
振動規制法	空気圧縮機、プレス
水質汚濁法	油の保管
下水道法	使用開始届
消防法（危険物）	危険物の保管（届け出基準以下）
フロン排出抑制法	業務用空調機
顧客要求事項	品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました  
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

**□外部からの環境上の苦情・要請等  
なし**



**□緊急事態対応の試行・訓練**

<b>緊急事態の想定： 地震・火災の発生</b>	
■実施日： 2018年6月1日	■実施場所 本社
■参加者： 全社員	
■実施内容： <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練 地震発生時直後の身を隠す訓練と火災・地震などが発生した場合、近隣駐車場に避難行動をする訓練。	
■評価：	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
避難訓練を実施、速やかに隣接する駐車場に移動する様子や地震・火災発生時の状況など、速やかに行うことが出来た。	
■実施状況の様子	
 <p>地震発生の報告が起こった時に即座に頭を抱え身を屈める訓練。</p>	 <p>地震や火災などの災害時、社外に出て隣接する駐車場に速やかに移動し点呼中の様子。</p>

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2019年3月6日

今期の評価

2017年度を基準に(一部2016年度を基準)活動目標を定め活動を行った。2月度時点で「電力・ガソリン・水道水・混合廃棄物」が削減目標を達成。一般廃棄物・材料ロスは一前年度を上回る結果となった。営業活動も前年通りに行っているがガソリンの使用量が大幅に削減できたのは大きな評価といえる。最適な営業ルートとエリア分けが大きな要因となったのではないかと考えられる。

一方で材料ロスは前年度を超える結果となった。少量多品種製品の増加も調整ロスが増える要因ではあるが、作業ミスによるロスも多い為、今後の課題として育成がテーマとなる。

来期への見直し

2019年度は今期を基準にして活動を行う、良くなかった材料ロスに対しては未熟な作業員の練度を高めるため教育訓練を行わせ技術を向上させる。

電力関係については、工場のLED化を進めているが1/4しか達成していないので、全LED化を目指し電力削減に努める。



環境経営方針

環境経営目標・計画

実施体制

変更なし

変更なし

変更なし

変更あり

変更あり 実績を踏まえて見直す

変更あり



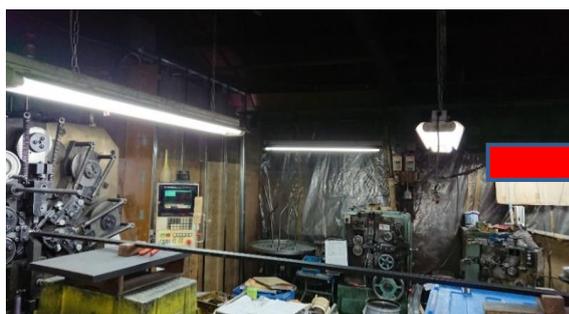
□これまでの環境活動の紹介 1



**before** → **after**



2F溶接室と通路が分かれており、ドアを片手で開けながら商品を出し入れしていたが、壁を取り払い作業効率がUP。



以前は奥が壁で塞がれていた場所が、機械を新規購入する際、改装し研磨作業室に。



シンク下部の不要な物を撤去しスッキリ。



まとまりがなく散らかっていた机の中を5Sシートを使い不要な物やペンのダブリをなくし整理整頓。

□これまでの環境活動の紹介 2



眩しすぎたため段ボールで光を遮っていたが、ブラインドに変更し、状況で閉じたり日の光を取り入れ蛍光灯の点灯を少なくするようにした。



ボロボロになったテント屋根を綺麗に修復。



老朽化で剥がれた工場入口の壁を剥がし貼り直した。



外に設置していた平面研磨機、稼働中、粉塵が舞い公害となるため、全周を囲い専用の部屋に変更し粉塵の飛散を回避

#### □編集後記

今期は台風や地震などの災害もあり、弊社も社屋が一部欠損するなどの被害がありました。その中でも日々の5Sは行われ、被害にあった箇所以外でも補修修復活動は行われ、あわただしい1年となりました。

EA21活動を始めてから、2年が経過しますが、各従業員の活動に対する意識は薄いと感じています。節水にしても1人ずつ意識を持てば大きな節約となるのですが、なかなか浸透しないというのが難しいと感じています。